

83

8 3

祈^きがんとは、ねがいを込^こめて祈^{いの}ること。

84

8 4

雑^{ざつ}誌^しのふろくに^いついてたおもちゃ。

85

8 5

あかいはねきようどう募^ぼきんにきようりよくする。

86

8 6

ゆきが降^ふりつもり、せきせつりようが過^かこさいこう。

87

8 7

おっともかがくしゃのキューぶん。

87	86	85	84	83
夫	積	協	付	願
夫も科学者のキュリー夫人。	雪が降り積もり、積雪量が過去最高。	赤い羽根共同募金に協力する。	雑誌の付録に付いていたおもちゃ。	祈願とは、願いを込めて祈ること。

88

えきまで
ごぶん
いないで
いける。

88

89

かいぎを
ひらいて
はなしあう。

89

90

もくひょうに
むかって
とりよくする。

90

91

砂糖に
むらがる
蟻の
たいぐん。

91

92

まちや
むらが
あつまって
ぐんになる。

92

92	91	90	89	88
郡	群	標	議	以
町や村が集まって郡になる。	砂糖 <small>さとう</small> に群 <small>あり</small> がる蟻の大群。	目標に向かつて努力する。	会議を開いて話し合う。	駅まで五分以内で行ける。

93

9 3

警^{けい}さつかんが しないを みまわる。

94

9 4

すいどうかん、みずを とおす くだのこと。

95

9 5

豊^{ほう}ふな せきゆ^{しげん}資源で とみを 築^{きず}く。

96

9 6

えきから とほで こうこうに かよう せいとたち。

97

9 7

かいすいよく、およいだ あとで シャワーを あびる。

97	96	95	94	93
浴	徒	富	管	官
海水浴、泳いだ後でシャワーを浴びる。	駅から徒歩で高校に通う生徒たち。	豊富な石油資源で富を築く。	水道管、水を通す管のこと。	警察官が市内を見回る。

98

98

まちかどを あかるく 照らす かいとう。

99

99

とうだいの ひを 頼りに ふねが すすむ。

100

100

てを あげる ことを きよしゆ という。

101

101

せんきよの かいひようけつかを きく。

102

102

ろくねんかの まなびを おえて そつぎようしき。

102	101	100	99	98
卒	票	挙	灯	街
六年間の学 びを終 えて卒 業式 。	選 挙の開 票結 果を 聞 く。	手 を挙 げること を挙 手とい う。	灯 台の灯 を頼 <small>たよ</small> りに 船 が進 む。	街 角を明 るく照 らす街 灯 。

103	

にもつをつんだかもつれっしゃがとおり過ぎた。

104	

うみのおきのほうにふねがみえる。

105	

せんそうは、くにとくにとのたたかいだ。

106	

いっちやくをあらそい、チームできょうそう。

107	

きょうのきゅうしよくはなんだろう。

107	106	105	104	103
給	争	戦	沖	貨
今日の給食は何だろう。	一着を争い、チームで競争。	戦争は、国と国との戦いだ。	海の沖の方に船が見える。	荷物を積んだ貨物列車が通り過ぎた。

たしかめ

23

名 前

1 0 8

108

ひるめしは、ごはんを握った握りめし。

1 0 9

109

あかみをおびたつちばかりの砂漠ちたい。

1 1 0

110

ごうきゆうするせんしゆをみていてもらいなき。

1 1 1

111

ぐんてをはめてか壇のはなうえ。

1 1 2

112

くさでたたかうひとをへい隊という。

い

112	111	110	109	108
兵	軍	泣	帯	飯
戦で戦う人を兵隊という。	軍手をはめて花壇 ^{だん} の花植え。	号泣する選手を見てもらい泣き。	赤みを帯びた土ばかりの砂漠 ^{さばく} 地帯。	昼飯は、ご飯 ^{にぎ} を握 ^{にぎ} った握り飯。

1 1 3

113

鼓^こてきたいがたいれつをくんでこうしんする。

1 1 4

114

わがいつつ、ごりんのマークはオリンピック。

1 1 5

115

けいきくはなびがあがり、うつくしいけしき。

1 1 6

116

れんしゅうをはじめてまだひがあさい。

1 1 7

117

ふねのそこに穴^{あな}があき、かいていに沈^{しず}んだ。

117	116	115	114	113
底	浅	景	輪	隊
船の底に穴 <small>あな</small> が開き、海底に沈 <small>しず</small> んだ。	練習を始めてまだ日が浅い。	景気よく花火が上がり、美しい景色。	輪が五つ、五輪のマークはオリンピック。	鼓笛隊 <small>こ</small> が隊列を組んで行進する。

122

1 2 2

こうさてんの信しんごうがあかになる。

121

1 2 1

おくいちをよく確たしかめて設せつちする。

120

1 2 0

もうなつだ、涼しいいふくにころも替え。

119

119

じどうかいで あそびの やくそくを きめる。

118

118

おちば | ちる | こうえん | の | なか | を | さんぽ | する。

たしかめ

25

名前

1 2 2	1 2 1	1 2 0	1 1 9	1 1 8
差	置	衣	児	散
交 差 点 の 信 号 が 赤 に な る 。	置 く 位 置 を よ く 確 <small>たし</small> か め て 設 置 <small>せつ</small> す る 。	も う 夏 だ、涼 <small>すず</small> しい 衣 服 に 衣 替 <small>が</small> え 。	児 童 会 で 遊 び の 約 束 を 決 め る 。	落 ち 葉 散 る 公 園 の 中 を 散 歩 す る 。

1 2 3	

123 イスの たかさを ちようせつする。

1 2 4	

124 たんごの いみを じしよで しらべる。

1 2 5	

125 おかしは いちばで さかえていた まち。

1 2 6	

126 えいようを しっかり 撮^とって、たいりよくを やしなう。

1 2 7	

127 しょくえんを いれすぎて しょ^{から}辛い。

1 2 7	1 2 6	1 2 5	1 2 4	1 2 3
塩	養	栄	単	節
食塩を入れすぎて塩 <small>から</small> 辛い。	栄養をしつかり摂 <small>と</small> って、体力を養う。	昔は市場で栄えていた町。	単語の意味を辞書で調べる。	イスの高さを調節する。

1 2 8

128

みずはむしよくでいろがない。

1 2 9

129

あかちゃんをうむことをしゅっさんという。

1 3 0

130

いちぶぶんをはぶくことがしょう略^{りゃく}です。

1 3 1

131

しつないをあかるくてらすしょうめいきぐ。

1 3 2

132

しゅくじつは、くにできめたおいわいのひ。

132	131	130	129	128
祝	照	省	産	無
祝日は、国で決めたお祝いの日。	室内を明るく照らす照明器具。	一部分を省くことが省略 <small>りやく</small> です。	赤ちゃんを産むことを出産という。	水は無色で色が無い。

137	136	135	134	133
不	残	鹿	熊	試
交通が不便な土地に住む。	残飯が残らぬように全部食べた。	鹿の頭には立派な角がある。	山中に熊がいて悲鳴を上げた。	実力を試してみるのが試験です。

142

1 4 2

としおいてめもみみもろうかした。

141

1 4 1

いまだにかんせいしないみかんせいのビル。

140

1 4 0

つきがみち、こんやはまんげつ、じゅうごやだ。

139

1 3 9

ひくいこえなのでていおんのパートをうたう。

138

1 3 8

れい蔵ぞうこにおぎちやをいれてつめたくひやす。

たしかめ

29

名 前

142	141	140	139	138
老	未	満	低	冷
年 老 い て 目 も 耳 も 老 化 し た 。	未 だ に 完 成 し な い 未 完 成 の ビ ル 。	月 が 満 ち 、 今 夜 は 満 月 、 十 五 夜 だ 。	低 い 声 な の で 低 音 の パ ー ト を 歌 う 。	冷 蔵 庫 に 麦 茶 を 入 れ て 冷 た く 冷 や す 。 <small>ぞう</small>

たしかめ

30

名前

[illegible]

よいことをしようとする
ところが
りょうしん。

[illegible]

ひこうきがくうこうにちやくりくした。

[illegible]

145
わるいところをあらため、よいものにかいりようする。

[illegible]

みずうみに浮かぶしろといわれた彦ねじよう。

[illegible]

147
へんの
ながさが
すべて
ひとしい
せいほうけい。

1 4 7	1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3
辺	城	改	陸	良
辺の長さが全て等しい正方形。	湖に浮かぶ城といわれた彦根城。	悪いところを改め、良いものに改良する。	飛行機が空港に着陸した。	良いことをしようとする心が良心。

152

1 5 2

しあい|に|まけて|ざんね|んだ。

151

1 5 1

みぎがわの そくめんの ドアをあけてみた。

150

1 5 0

かどまつは、しょうちく梅ばいを飾かざります。

149

149

ふくいけんは、恐竜のかせきでゆうめいだ。

148

1 4 8

さいえんに
なのはなが
咲いていた。

たしかめ

31

名前

152	151	150	149	148
念	側	松	井	菜
試合に負けて残念だ。	右側の側面のドアを開けてみた。	門松は、松竹梅を飾ります。 かざ	福井県は、恐竜 <small>きょうりゅう</small> の化石 <small>かざ</small> で有名だ。	菜園に菜の花 <small>な</small> が咲 <small>さ</small> いていた。

1 5 3	

153 おきなわけんで じょうもんじだいの ときはっけん。

1 5 4	

154 みずが 凍^{こお}って かたくなり、こたいになった。

1 5 5	

155 かいこう ひやくしゅうねんを いわう しゆくがかい。

1 5 6	

156 せいぶつが、こころしずかに 眺^{なが}めます。

1 5 7	

157 こう^{しゃ}舎の まわりを はしって いっしゅうする。

1 5 7	1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3
周	静	賀	固	縄
校舎 <small>しや</small> の周りを走って一周する。	静物画、心静かに眺 <small>なが</small> めます。	開校百周年を祝う祝賀会。	水が凍 <small>こ</small> って固くなり、固体になった。	沖縄県で縄文時代の土器発見。

162

1 6 2

繰^くりかえしとなえて あんしょう、くくれんしゅう。

161

1 6 1

ひょうさつは、なまえを かいだふだのこと。

160

1 6 0

しゅんかしゅうとう、にほんの しきは うつくしい。

159

1 5 9

ばいりに 咲^さく うめのはな、いい 香^かり。^お

158

1 5 8

まご うまれ、しそん 繁^{はん}えい、おめでたい。

たしかめ

33

名 前

162	161	160	159	158
唱	札	季	梅	孫
繰 ^く り返し ^し 唱 ^な えて暗 ^{あん} 唱 ^な 、九 ^く 九 ^く 練 ^{れん} 習 ^{しゆ} 。	表 ^{ひょう} 札 ^さ は、名 ^な 前 ^{まへ} を書 ^か いた札 ^さ のこ ^{こと} と。	春 ^{はる} 夏 ^{なつ} 秋 ^{あき} 冬 ^{ふゆ} 、日 ^{にっ} 本 ^{ぽん} の四 ^し 季 ^き は美 ^う し ^う い。	梅 ^{うめ} 林 ^{りん} に咲 ^さ く梅 ^{うめ} の花 ^{はな} 、い ^い い香 ^か り。	孫 ^{そん} 生 ^{せい} ま ^ま れ、子 ^こ 孫 ^{そん} 繁 ^{はん} 栄 ^{えい} 、おめ ^め で ^で た ^た い。

167

1 6 7

せんちようのめいれいは、絶^{ぜつ}たいまもること。

166

1 6 6

いちおくのいちまんばいがいっちようです。

165

1 6 5

おおがねもちのおくまんちようじゃ。

164

1 6 4

おお阪^{さか}ふ・きようとふ、どちらもきん畿^きちほう。

163

1 6 3

しずおかけんはおちやでゆうめい。

たしかめ

3 4

名 前

167	166	165	164	163
令	兆	億	府	岡
船長の命令は、絶対 ^{ぜっ} 守ること。	一億の一万倍が一兆です。	大金持ちの億万長者。	大阪府・京都府、どちらも近畿 ^き 地方。	静岡県はお茶で有名。